

平成17年7月28日

各 位

会社名 三協・立山ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 要明英雄
 (コード番号3432 東証・大証各第一部)
 問い合わせ 広報室部長 上野貴司
 (電話 0766-20-2332)

立山アルミ中期経営改革計画の進捗状況について

平成16年7月29日に公表いたしました、当社子会社立山アルミニウム工業株式会社の「中期経営改革計画」に
 関しまして、進捗状況を下記の通りお知らせいたします。

【効果実績および計画】

(単位:百万円)

実施項目・実施施策	平成17年5月期(立山アルミ第84期)						18年5月期 (第85期) 計画
	上期		下期		通期		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
事業体質の強化	200	261	100	327	300	588	250
仕入れ商品のコスト削減	200	303	200	323	400	626	200
経費の適正・効率化	100	122	150	149	250	271	200
有利子負債の圧縮	0	0	50	56	50	56	50
合計	500	686	500	855	1,000	1,541	700

【進捗状況】

事業体質の強化

組織統合による業務効率の向上、営業拠点の再配置等を行い、事業系費用の削減を
 先行的に進め、計画を達成した。

84期の取組により、事業体質強化のテーマの取組がスタートし、85期は販売価格の
 値戻し等、営業系の構造改革を重点に目標達成を目指す。

仕入商品コストの削減

東京での集中購買体制構築やコストリダクションプロジェクトが軌道に乗り、計画を達成した。

85期においては、資材価格上昇等の厳しい環境対応すべく、「事業体質の強化」の
 販売価格の値戻し等の利益改善施策と連動した取組みを推進する。

経費の適正・効率化

全社的な制度見直し、経費削減ガイドラインの全社運用と厳格管理を行い、計画を達成した。

85期においては、事務所の三協アルミ・立山アルミの執務場所の同居が進む為、三協アルミ
 と協力を図りながら、両社の視点からの経費の組み直しによる削減を進める。

有利子負債の圧縮による支払利息の削減

有価証券の売却、遊休不動産の売却を進めるとともに、借入金の返済と支払利息の削減
 を進め、計画を達成した。

85期においては、84期の取組みを継続するとともに、遊休不動産の売却等を進める。

以上